

掛けること、雲分布・エネルギー収支を明らかにする研究の推進、漂流ブイ観測計画の推進、基地が密集しているキングジョージ島での観測をより効率化させるべきこと、成層圏の長時間気球観測 (STRATEOLE; フランス) に呼応して、オゾンゾンデの同期観測に協力すること、等であった。

将来計画が議論され、今後のテーマとしては、これまでの観測、解析データなどを集め、最良の気候データセットを作ろうという計画 (Reference Antarctic Data for Environmental Research: READER) を進めることになり、また、大気化学についても新しい活動を起こそうという機運になった。これらについては、次回、2000年の東京会合で議論をまとめることになっており、提案のある方は筆者まで連絡いただきたい。なお、本委員会の委員長は D. Bromwich から J. Turner に替わった他、新しく E. B. Pereira が大気化学担当の副委員長となった。活動状況については、

PACA Web Page (<http://www-bprc.mps.ohio-state.edu/paca>) に公開されているので参照いただきたい。

略語一覧

AGO: Automatic Geophysical Observatories
AGU: American Geophysical Union
ECMWF: European Centre for Medium-range Weather Forecasts
FROST: First Regional Observing Study of the Troposphere
GTS: Global Telecommunication System
ICSU: International Council of Scientific Unions
IGY: International Geophysical Year
PACA: Physics and Chemistry of Atmosphere
SCAR: Scientific Committee on Antarctic Research
WGAM: Working Group on Antarctic Meteorology
WMO: World Meteorological Organization

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
風工学シンポジウム	1998年12月2日 ～4日	日本学術会議災害工学研究連絡委員会、土木学会、日本気象学会、他	日本学術会議講堂 (東京都港区六本木 7-22-34)	「天気」45巻2月号
第12回数値流体力学シンポジウム	1998年12月21日 ～23日	日本数値流体力学学会 (後援・協賛) 日本気象学会他	中央大学理工学部春日キャンパス (東京都文京区春日)	
風に関するシンポジウム	1998年12月22日	日本気象学会 他10学会	東京大学海洋研究所 (東京都中野区)	「天気」45巻8月号
月例会「レーダー気象」	1999年1月22日		気象庁 (東京都千代田区)	「天気」45巻7月号
第48回理論応用力講演会	1999年1月25日 ～27日	日本学術会議 (共催) 日本気象学会等	日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34)	「天気」45巻6月号
第11回国際女性技術者・科学者会議 “Science and Technology for Global Ecology”	1999年7月24日 ～27日	日本女性科学者の会・日本女性技術者フォーラム・日本学術会議 (後援) 日本気象学会他40学会	幕張メッセ・国際会議場	「天気」45巻6月号